

子供園名	堀ノ内子供園		園長名	高橋 章子
住所	杉並区堀ノ内1-9-26			創立 15年 (幼稚園からの転換 2010年)
電話番号	3313-3437	FAX 番号	3313-3490	
URL			最寄り駅	方南町
2024年度年少クラス募集人数(実績) 23名				定員数 93名
各学年のクラス数	年長 1クラス	年中 1クラス	年少 1クラス	
送迎バス	駐車場	指定制服	指定カバン	
<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 一部あり(体操着のみ) <input type="checkbox"/> なし(なしです)	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
プレ(2歳児/満3歳児クラス または定期的に参加するもの) <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし			昼食 弁当持参 週 3回 希望者に配食弁当あり ※給食(<input type="checkbox"/> 自園調理 <input type="checkbox"/> 配食)	
預かり保育 通常時/長期休暇中 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし / <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		課外活動(子供園内で実施する習い事) <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし		
卒園後に進学する主な小学校 区立 大宮小・済美小・堀ノ内小・和田小・方南小 など約10校				

子供園の考え方を知るための質問

質問 1：園の一番の特徴は何ですか。（例：自由遊びをたくさんする、遊びの中でしっかり学ぶ、園庭遊びをたくさんする、自然とのふれあいを大切にする等一言をお願いします。）

回答 1：遊びの中での学びを大切にします

質問 2：園児と接する時に大切にしていることや教育方針を教えてください。

回答 2：一人ひとりの幼児が、主体的に遊びや生活を通して豊かな体験を積み重ね、様々な人や友達と関わり、健康で人間性豊かに育つことを目標とします。

質問 3：これからの子どもたちにはどのような力が必要と考えますか。

回答 3：自分で選び自分で考え行動していく力をつけてほしいです。

質問 4：お昼ご飯はどのような内容ですか。（お弁当を持参する、おにぎりのみ持参する、希望製の配食等自由に記述をお願いします。）

回答 4：お弁当持参。希望により、週 3 回の配食弁当の注文可能。

子供園の活動を知るための質問

質問 5：日々の活動内容について教えてください。

質問 5-1：自由活動では園児たちはどのようなことをしていますか。

回答 5-1：豊かな自然に恵まれた園庭でたっぷりと体を動かしたり、虫や自然物で遊んだり砂場で存分に泥んこ遊びをしたりします。保育室では、様々な素材や用具、積み木などを使って製作やごっこ遊びなどを楽しんでいます。どの活動もじっくりと自分で遊んだり友達と一緒に力を

合わせたりしていきます。

質問 5-2：他学年との交流はありますか。

回答 5-2：1 学期に 5 歳児が友達と協同でつくった遊園地や動物園に他学年の友達を招待します。また、2～3 学期には運動会を機に様々な場面で交流をしています。

担任同士が、常に連携をとっているため、面白い活動や刺激になるような遊びは情報を共有し合い、参加したり見学したりしています。

質問 5-3：一斉活動では外部講師が指導するものはありますか。

回答 5-3：月に一度、運動遊びの先生を招聘しています。運動ができるようになることが目的ではなく、いろいろな体を動かす楽しさをたっぷり味わいます。

質問 5-4：近年、新たに取り入れた活動や取り組みはありますか。

回答 5-4：コロナで中止にしていた、ひな祭りでの「お茶会」を復活しました。

質問 6：小学校入園に向けた準備として行う事はありますか。（学習、生活、心の成長など様々な観点でご回答をお願いします。）

回答 6：園内での日頃の遊びや活動を通して、思考力や調整力を培い、友達と協同してやり遂げる充実感や達成感を味わい、自分はすてき！もっとこんなことやってみたい！と感じ、自信をもって就学に向かえるようにしています。

質問 7：行事について教えてください。

質問 7-1：主な年間行事を教えてください。

回答 7-1 : 遠足・ごっこ遊び活動・プール遊び・運動会・堀ノ内劇場（表現活動）・音楽会

質問 7-2 : 園児の参加する行事の中で、未就園児が親子で参加または見学できるものはあります
か。

回答 7-2 : 運動会

**他に、未就園児の会の開催の折りに、時期によって表現活動など園児の取り組みの様
子を参観していただいています。**

子供園と家庭とのかかわりを知るための質問

質問 8-1 : 保護者会、委員会活動など保護者の参加が求められる行事はありますか。

**回答 8-1 : 保護者会 ; 学期に 1 回。 PTA 活動 ; 運営委員会は年 4 ~5 回程度必要に応じて実
施。**

質問 8-2 : 行事以外の普段の日の保育参観は可能ですか。

**回答 8-2 : 保育参加参観を年 2 回実施。少人数で参観し、子どもたちの育ってきていることや
今後大切にしていきたいことなどを、保護者と担任が懇談し共有していきます。**

質問 8-3 : 父母会やクラブ活動など、保護者同士の交流を深めるために行っていることはありま
すか。

**回答 8-3 : PTA 総会実施の日に、園全体での親子活動を学年ごとに実施し、交流の機会として
います。**

質問 8-4 : 保護者の参加する係やお手伝いについて、具体的に教えてください。(例 : ~係 (毎

月1回)、～係(行事当日のみ)、クラス幹事(幹事会毎月1回)等)

回答 8-4 : 今年度は、PTA 主催でお楽しみ会(2 学期初め)を開催

絵本係(絵本のメンテナンス) 学期に2～3 回程度。

ボランティア活動で、落ち葉掃きを助けていただいています。

降園後の活動についての質問

質問 9-1 : 課外活動はどのようなものがありますか。

回答 9-1 : ありません

質問 9-2 : 預かり保育について伺います。

質問 9-2-1 : 預かり保育を行う時間を教えてください。ある場合はできるだけ具体的に補足をお願いします。(例 : 月火水木金 降園後～17 時)

回答 9-2-1 : 降園後～17 時まで

質問 9-2-2 : 長期休暇中の預かり保育はありますか。ある場合はできるだけ具体的に補足をお願いします。(例 : 月火水木金 9 時～17 時、祝日、お盆、年未年始を除く)

回答 9-2-2 : 月～金 9 : 00～17 : 00 (日曜、祝日、年未年始を除く)

質問 9-2-3 : 預かり保育ではどのような活動を行いますか。

回答 9-2-3 : 長時間保育の園児と一緒に過ごします。

降園後～15:00 コットで横になり、体を休めます。

15:00～ おやつ。長時間保育の園児と一緒に園庭や保育室でゆったりと遊びます。

質問 9-2-4：新 2 号認定を取得して預かり保育を利用している人はどのくらいいますか。

回答:9-2-4：1名

審査に向けて心配な保護者に向けて差支えない範囲でおしえてください

質問 10：質問 7-2 以外に、子供園説明会、未就園児向けの催しなど、入園を検討している保護者と子どもが参加できる（園児が参加しない）行事はありますか。

回答 10：子供園説明会：9月28日（土）

その他に、ご連絡をいただいてから見学を随時お受けしています。

未就園児の会で毎回、簡単な製作遊びや表現遊びなど楽しんでいます。また、会終了

後は園庭の砂場で遊べます。（天候に応じます。）

質問 11：子供園の選び方について、保護者の方へのアドバイスをお願いします。

回答 11：親御さんはお子さんがどのように育ってほしいでしょうか？

子供園では、一人ひとりの子どもたちが「これが好き！もっとやりたい！もっと知りたい！挑戦したい！」という気持ちを大切にしています。この気持ちが、大きく育ったときに「もっと学びたい。深く探求したい。」という学ぶ力になっていきます。いろいろなことに自ら関わり育っていく子どもたちと一緒に支え応援していきましょう。

質問 12：定員を越えた場合の選考方法を教えてください。

回答 12：区役所の担当課が抽選を行います。

質問 13 : 入園前後の子どもへの接し方について、保護者の方へアドバイスをお願いします。

回答 13 : 親子ともに、入園前後はとても不安になると思います。まずは、「子供園は楽しいよ。」

と、声をかけてあげてください。その言葉でお子さんは、安心して園に通っていかうとします。

保護者の方の不安は、職員とたくさんお話をしながら様子を知っていただき、安心につながるよ

うにしていきます。